

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成28年6月2日（木）
10：50～11：35（3校時）

場 所：大田市立久屋小学校

対象者：同校6年生12名

指導者：6年部教職員

島根県立古代出雲歴史博物館
角田徳幸・伊藤大貴

1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
10:50～11:00（10分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・模鑄品の銅鐸、銅剣を持参する。
11:00～11:25（25分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さを体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
11:25～11:35（10分） ③「奈良の大仏」について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	・造立の背景、大仏開眼式について説明する。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。 ・理解しやすい写真パネルを多用。

4. 準備物等

- ・体験用具：「奈良の大仏」の実物大パネル、模鑄品の銅鐸・銅剣
 - ・説明用具：写真パネル
- ※全て古代出雲歴史博物館側が用意いたします。

5. その他

- ・10:20 ごろより体育館にて事前準備をいたします。